

供給体制

厚生労働省

○都道府県別に分配量を割り当て



福岡県

○60市町村の分配量を割り当て

※市町村間の分配量を調整

→接種対象者数より分配量の方が多い市町村から、ワクチンが不足する市町村に供給調整を行う



60市町村

○基本型接種施設別に必要量を割り当て

○住民（医療従事者を含む）のうち、2回目接種完了から概ね8か月以上を経過した者に接種券
一体型予診票等を送付

接種体制（※各市町村で構築した住民接種体制において接種を行う）

個別接種

基本型接種施設

サテライト型接種施設

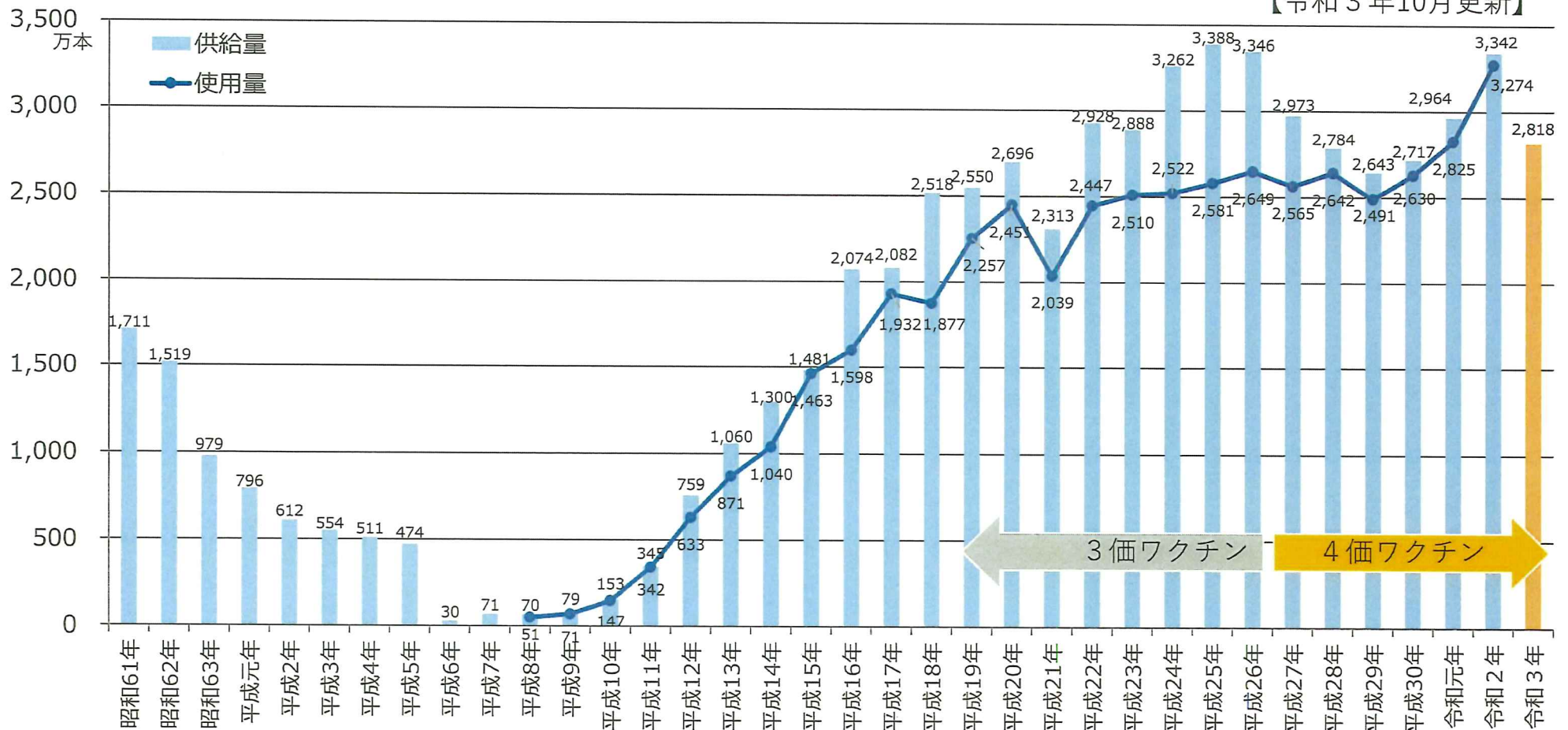
集団接種

※基本型・サテライト型に勤務する医療従事者は、勤務先において接種可能（住所が医療機関所在地外にある者を含む）

2021/22シーズンのインフルエンザワクチンの供給量の見込み 別紙1

- 今年度のインフルエンザワクチンは、製造効率等が特に良かった昨年度とは異なり、例年と同程度の製造効率等である。
- 平成8年以降で最大となった昨年の使用量と比較すると少ないが、例年の使用量に相当する程度は供給される見込み。

【令和3年10月更新】

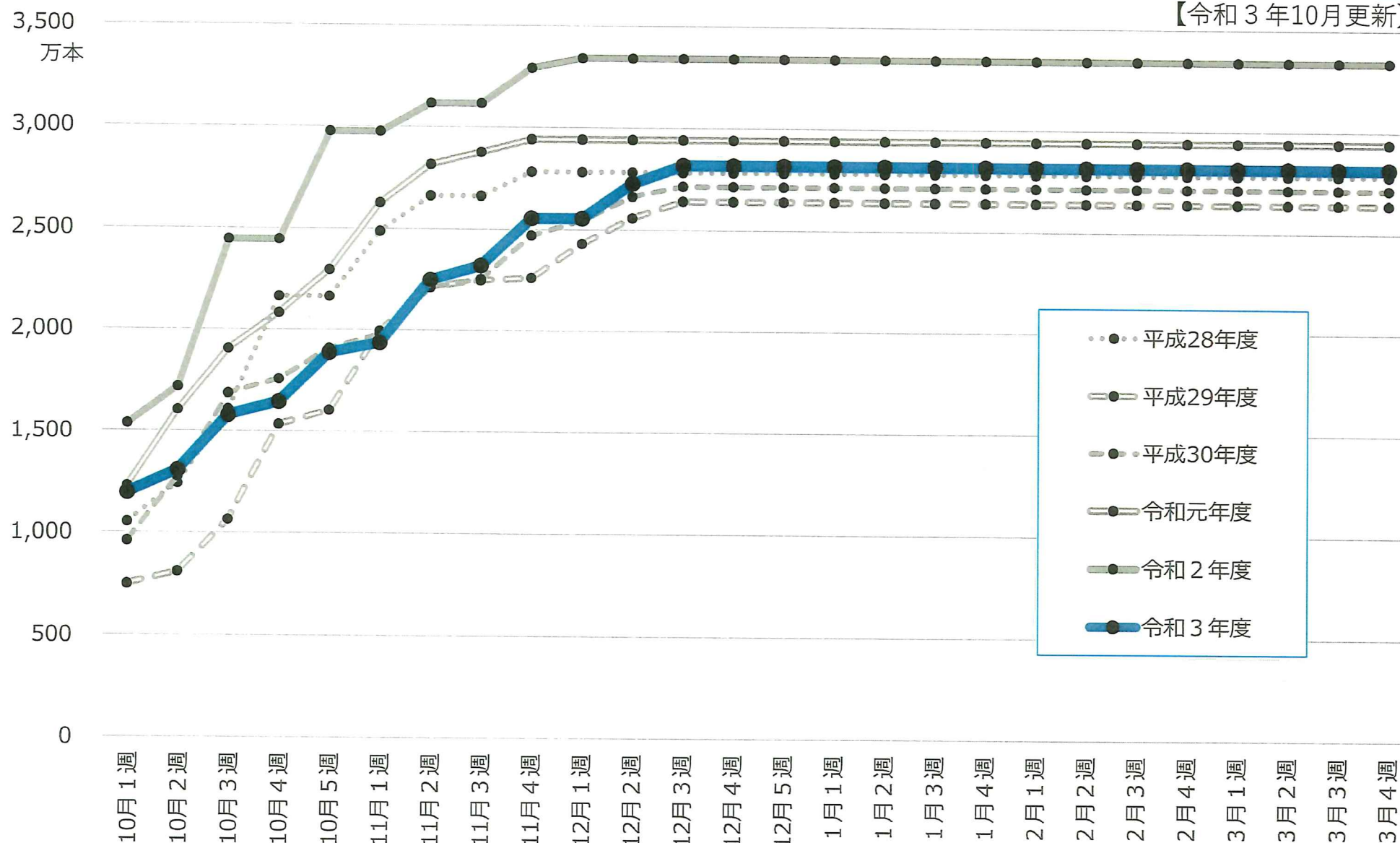


※1 平成7年以前の使用量は不明

※2 1mL換算

2021/22シーズンにおけるインフルエンザワクチンの供給（週次） 別紙 2

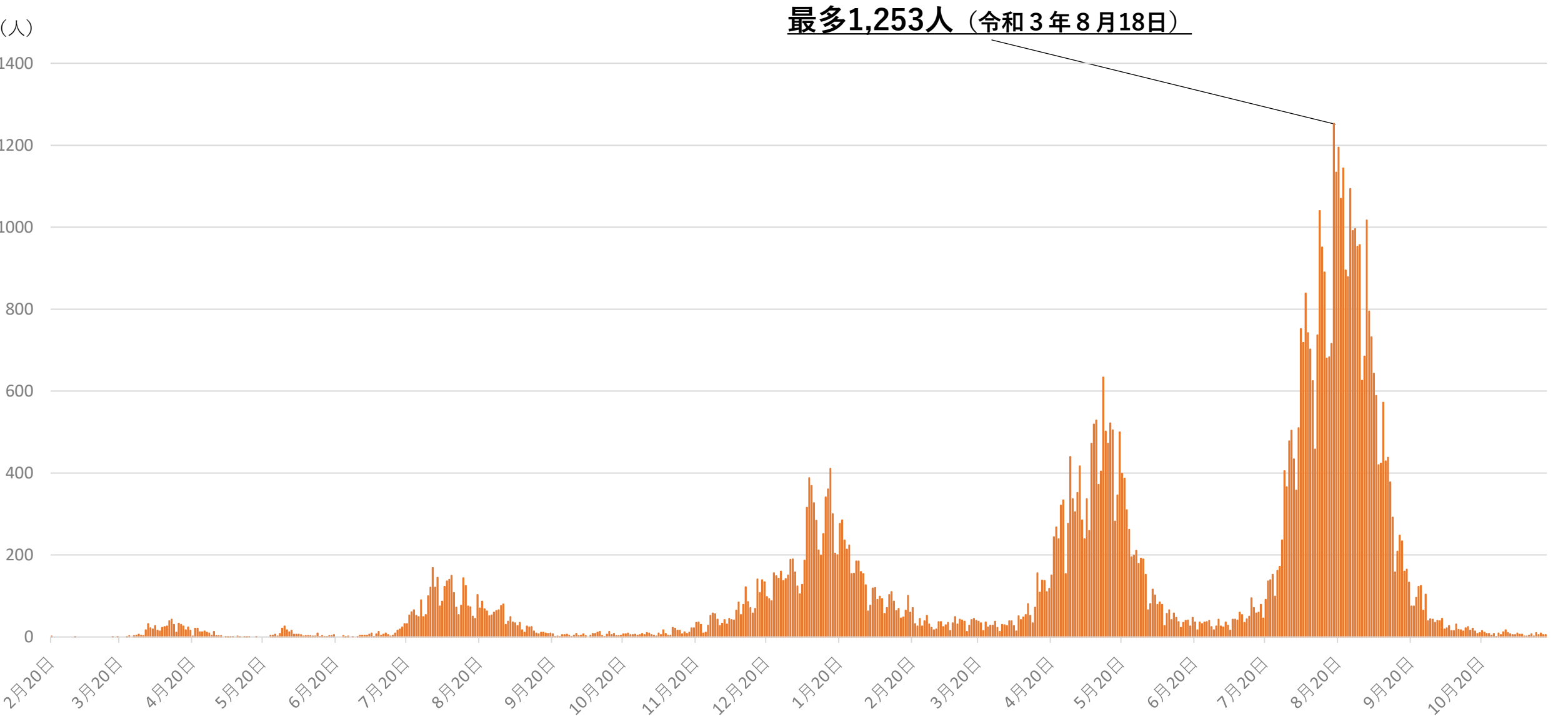
【令和3年10月更新】



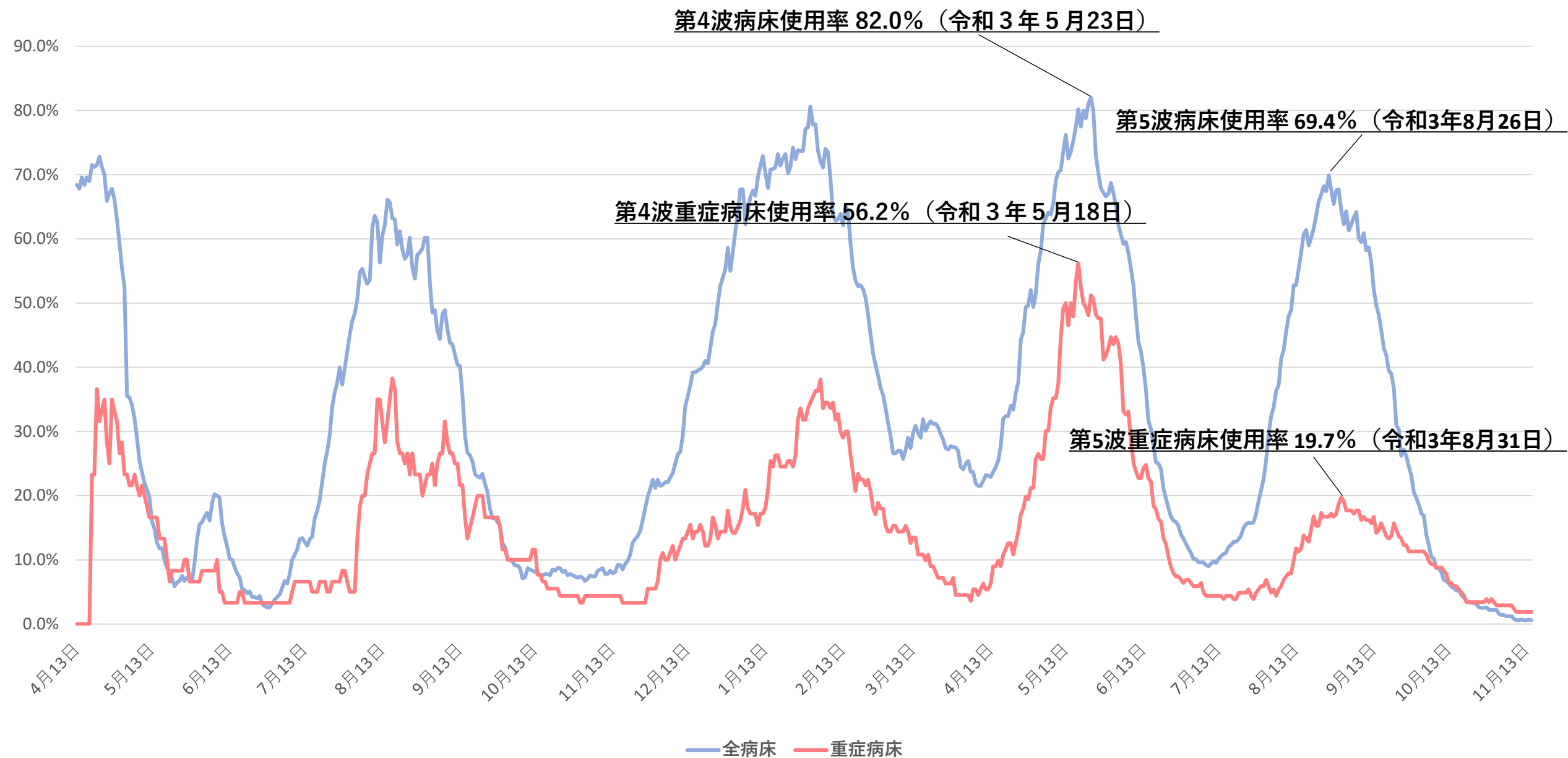
注1) 供給量は、いずれも1mL換算。

注2) 週の表示は金曜日を基準としている。

新規陽性者数の推移 令和3年11月16日現在



病床使用率の推移 令和3年11月16日現在



宿泊療養施設使用率の推移

令和 3 年11月16日現在

(令和 3 年 8 月18日)
療養者数 1,529人 (使用率 72.6%)

